

「極上のフランス旅行」 ご参加者へのアドバイス 2024

◆滞在先

- ・現金 ワイン代や食事代を割るときに必要
 - ✓ ランチのワイン代
 - ✓ 行程に入っていない夕食とワイン回ごとに現金で林が集める（お昼 15~30€、夜 60~100€程度、頼むワインによる）
当日の最安レートで日本円支払いでも可能
- ・カード VISA が一番使える。JCB はほぼ無理で、AMEX も使えないことが多い。
- ・薬 痛み止め、風邪薬、胃薬、イソジン、下痢止め、解熱剤、抗生物質、口内炎薬、傷薬、バンドエイドなど
- ・海外用アダプターと三又ソケット
電源をとるところが少ないので、三又があると使い勝手がよい
- ・ドライヤーや電気製品
ヨーロッパは 220V。日本は 110V なので、手持ちの電化製品が対応しているかどうか確認のこと。ホテルにはドライヤーはあることが多いが、おおむね風量が弱い。
- ・1L 以上の大きな水
1 人 1 日につき小さなボトル 1 本はつく。
水を買うようなところが近くなかなか見つからないので、スーツケースに空きがあったら 1.5l の水を入れるだけ入れ、小分けのペットボトルを持参して冷蔵庫で冷やすとよい。
- ・非常食
ヨーロッパのディナーの予約は、10 名以上だとメニューを先に決めることを要求される。その日の体調によって部屋食にしたい方は、カップ麺、缶詰、お味噌汁など、非常食を持参しておくとし便利。ボルドーのメルキュールとランスのオテル・ドラペは湯沸かしあり。
- ・ポーター ホテルでのポーターサービスはそこまで期待できないし、石畳の道を運ぶこともあるため、荷物は自分で運べるだけの量にしておくこと。

◆服装

- ・全般：近年温暖化で夏物が適していることもあり、直前の天気予報を要チェック
シャンパーニュ 6~20℃、ボルドー 13~24℃、ブルゴーニュ 15~22℃、パリ 12~22℃
レストランは暖かいが、ワイナリーのセラーは 13 度前後、湿度は 80%以上あり冷える。
- ・ホカロン 寒がりの方は、腰だけでなく足裏用もあると良い
- ・折りたたみ傘やレインコート
鞆に入る軽くコンパクトなもの。フランスは天気が変わりやすく、にわか雨が降ったりやんだりする。
- ・靴 ハイキングでは運動靴がベストだがフラットシューズでも歩けるなら OK。
泥がつくので、防水スプレーをしていくのがおススメ。
- ・ボルドー訪問時の服装
今回は高級なシャトーばかりなので、綺麗目のカジュアルがおススメ。
畑も少し案内してくれる可能性があり、高いヒールは避けたほうが良い。
- ・シャンパーニュメゾン訪問時の服装
日本の VIP として特別に手配していただいているため、それに相応しいスタイル。畑は遠すぎるので基本行けず、巨大なワインセラーと醸造を見学するのがメインになる。
- ・ディナーの服装

星付きレストランの場合、男性はジャケット着用が望ましい

◆ワイン購入

・ワインの送料

送料が1本2000円以上かかり、少量や安いものでは日本の方がお得になってしまう。

狙い目は高額なものやレアなもの（家族のバースデーヴィンテージなど）

海外からの発送は、ヤマト国際が対応していることが多い。

・訪問先でのワイン購入

今回訪れるような生産家は、基本的にワイナリーではワインを販売していないと思った方がよい。

もしあっても、日本までの送付の手続きや梱包のサービスもないことがほとんど。機内には持ち込めないため、緩衝材（プラスチックのプチプチ）や梱包材を持参し、スーツケースに入れて帰便でチェックインするとよい。

◆機内：エコノミー・クラスを快適に過ごすための知恵

・小さな空のペットボトル持参

機内の飲み物のカートが来たとき、ペットボトルにお水をいれてもらおうと、いちいち取りに行かなくて良いので便利。空港のセキュリティ・チェックの時には、お水を飲みほして空にしないと廃棄させられる。

・メディキュットのようなきつい靴下：機内で足がむくむを防ぐ。

・首枕、耳栓、アイマスク：首枕があると、隣に頭がいかないので、だいぶ楽。

・エアフランスは事前に席の指定が可能。ドアサイド（窓側がベスト）、後ろの窓から2席の並びなど、多少エキストラチャージがかかるが、こちらをとった方が楽。

・ビジネスも事前座席指定ができ、基本的に一人席や前方の方が環境が良い。